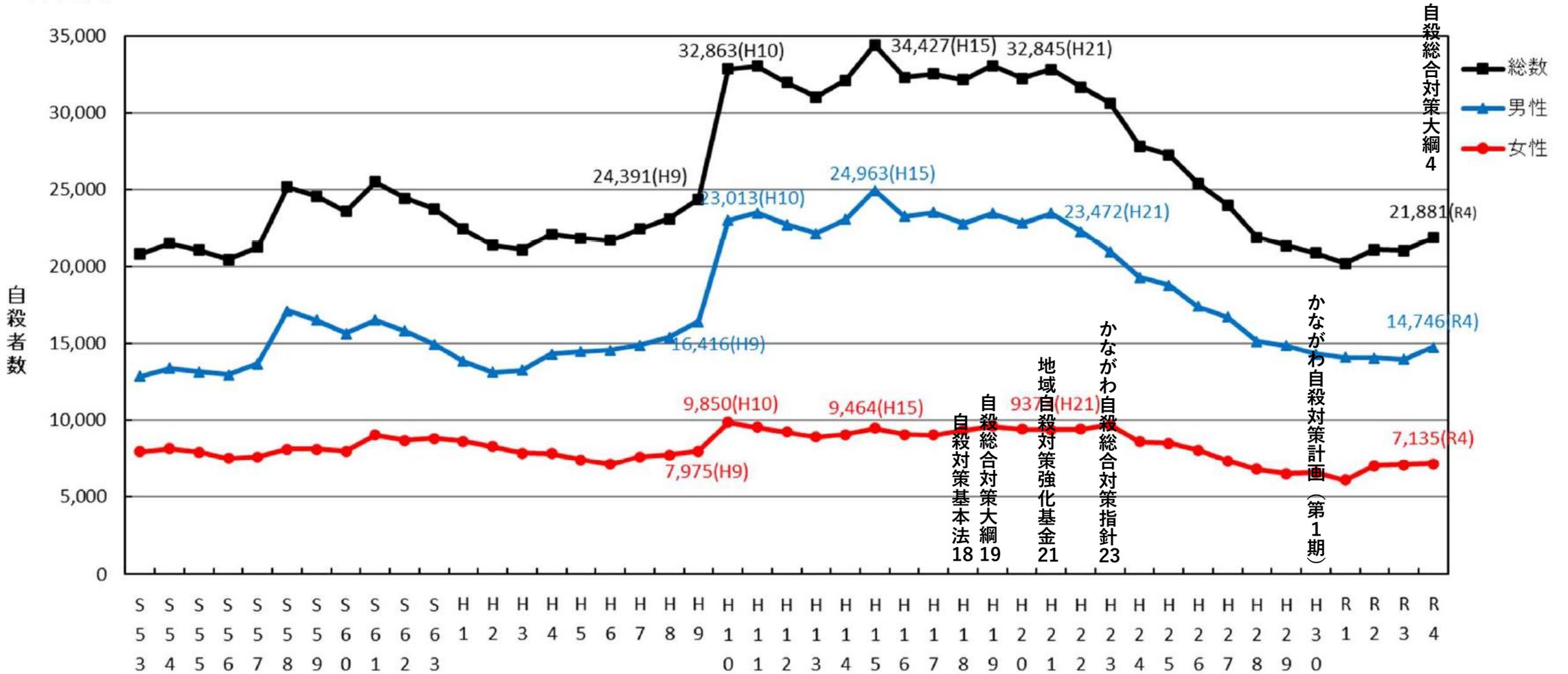


神奈川県における 自殺の状況 (令和4年版)

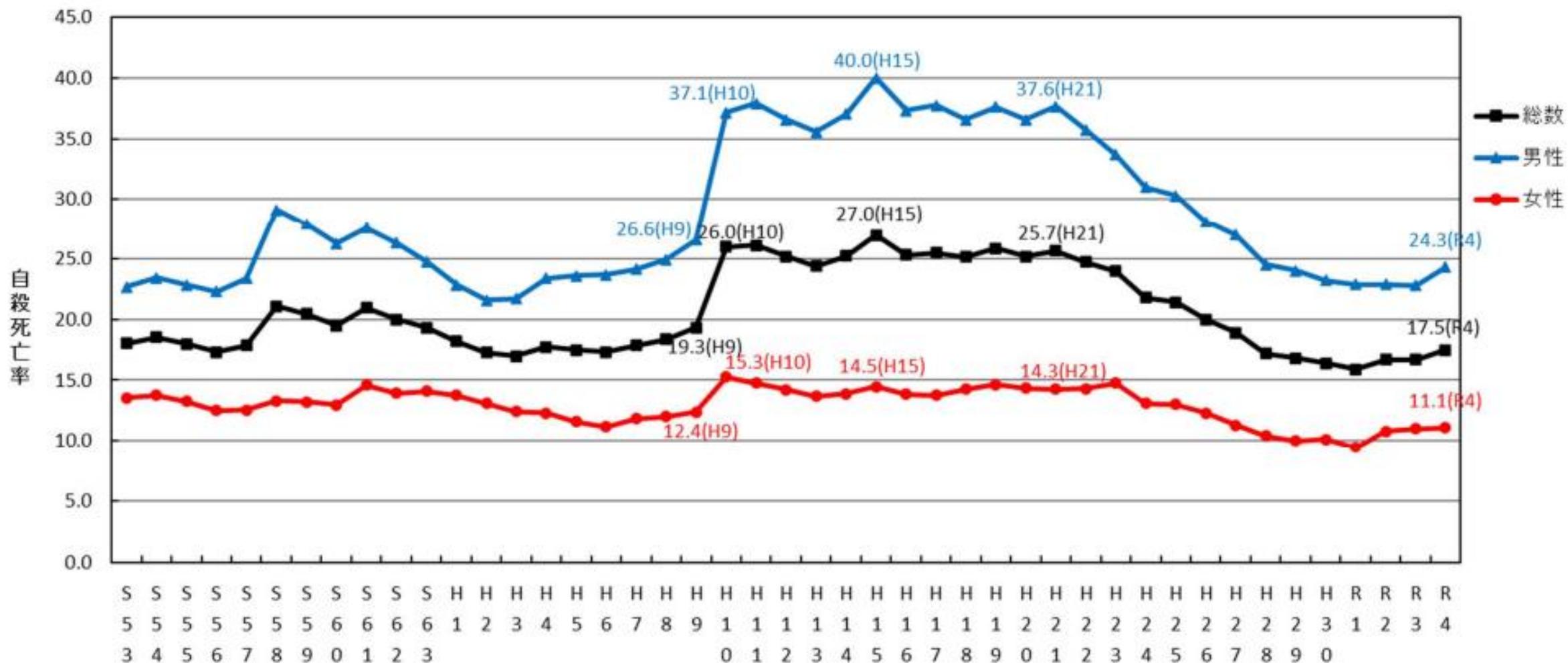
令和5年7月25日
第35回 かながわ自殺対策会議

自殺者数の推移 (S53~R4 警察統計)

(単位:人)



自殺死亡率の推移 (S53~R4 警察統計)

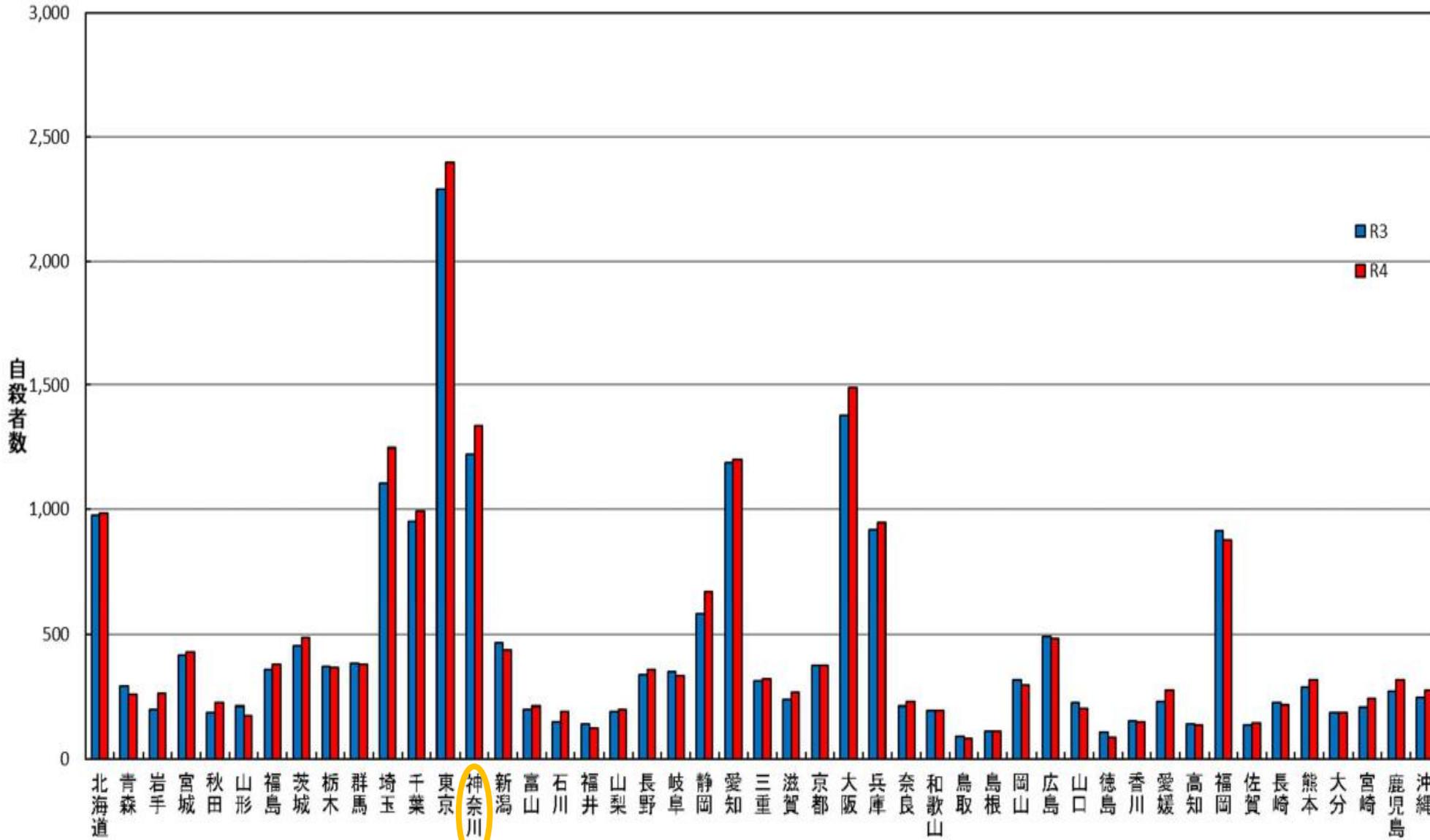


注)「自殺死亡率」とは、人口10万人当たりの自殺者数をいう。

資料: 警察庁自殺統計原票データ、総務省「国勢調査」及び「人口推計」より厚生労働省作成

都道府県別自殺者数（R3、R4）

（単位：人）

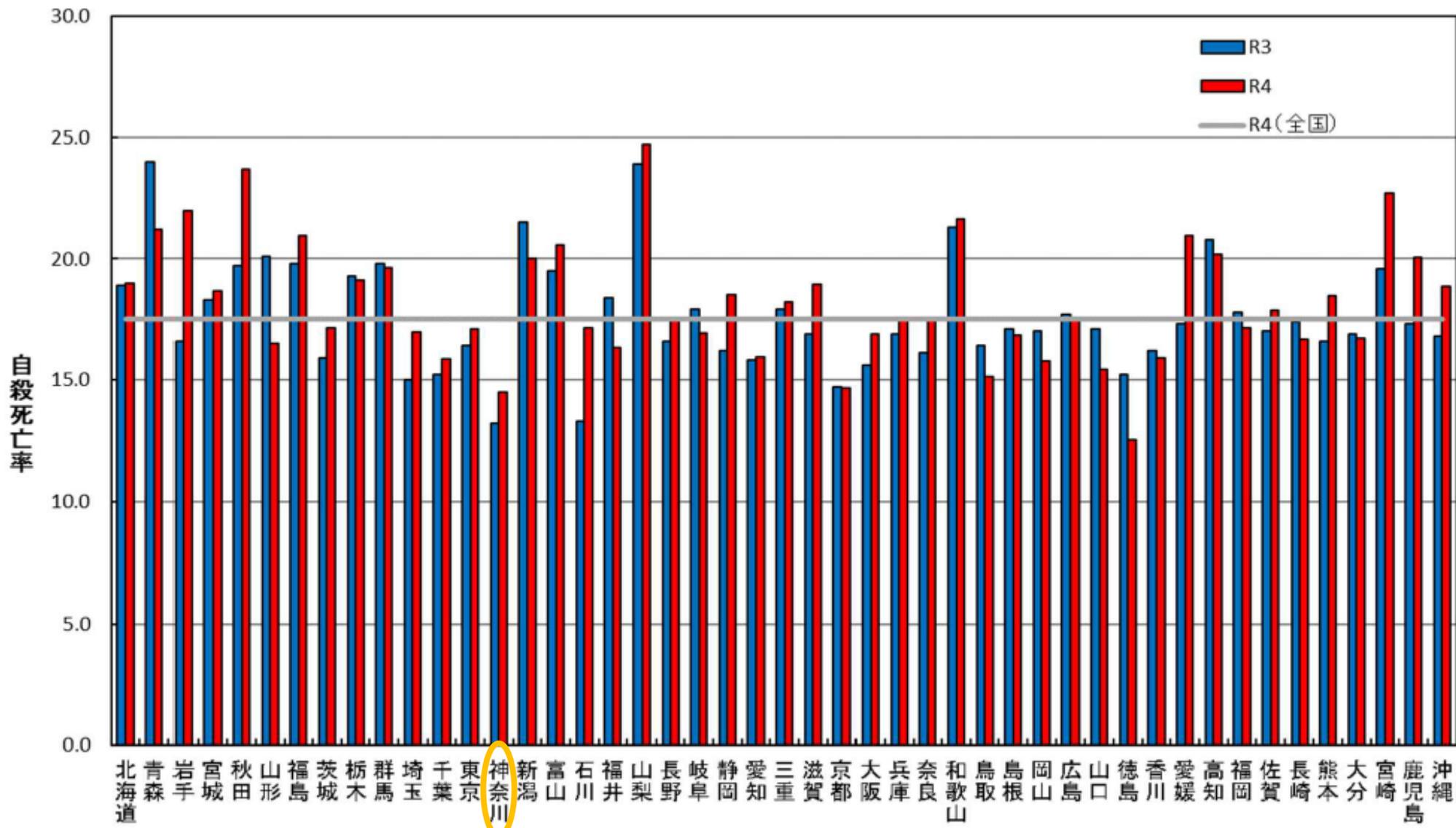


自殺者数(R4)		
	低値	高値
①	鳥取県 83	東京都 2339
②	徳島県 89	大阪府 1488
③	島根県 112	神奈川県 1337
④	福井県 124	埼玉県 1247
⑤	高知県 138	愛知県 1200
全国	21,881	21,881

注：本統計は、自殺の発生地における計上であり、自殺者の居住地とは異なる。

資料：警察庁自殺統計原票データより厚生労働省作成

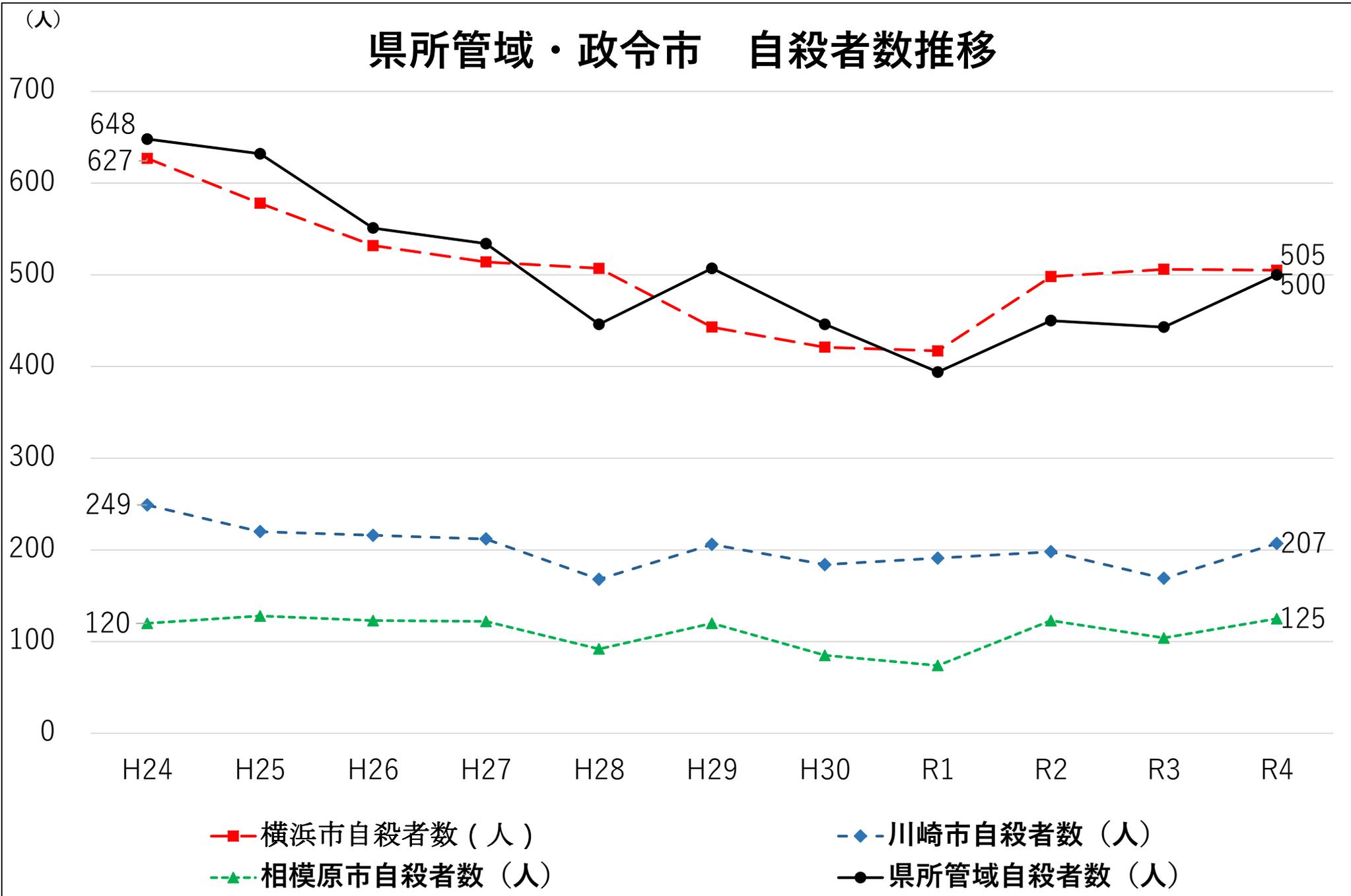
都道府県別自殺死亡率 (R3、R4)



自殺死亡率(R4)	
低値	高値
① 徳島県 12.5	山梨県 24.7
② 神奈川県 14.5	秋田県 23.7
③ 京都府 14.6	宮崎県 22.7
④ 鳥取県 15.1	岩手県 22.0
⑤ 山口県 15.4	和歌山県 21.7
全国	17.5

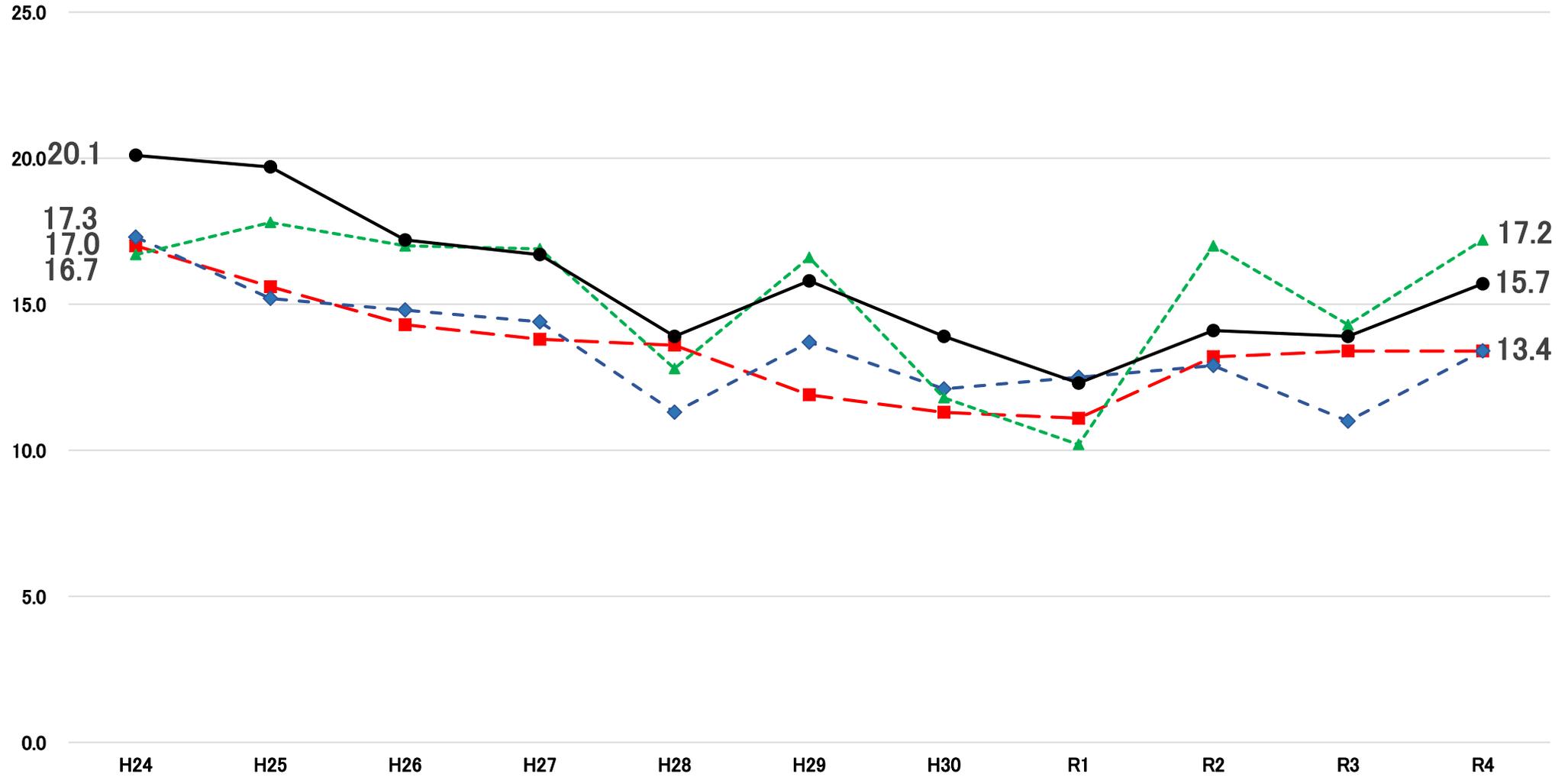
注: 本統計は、自殺の発生地における計上であり、自殺者の居住地とは異なる。

県所管域・政令市 自殺者数推移



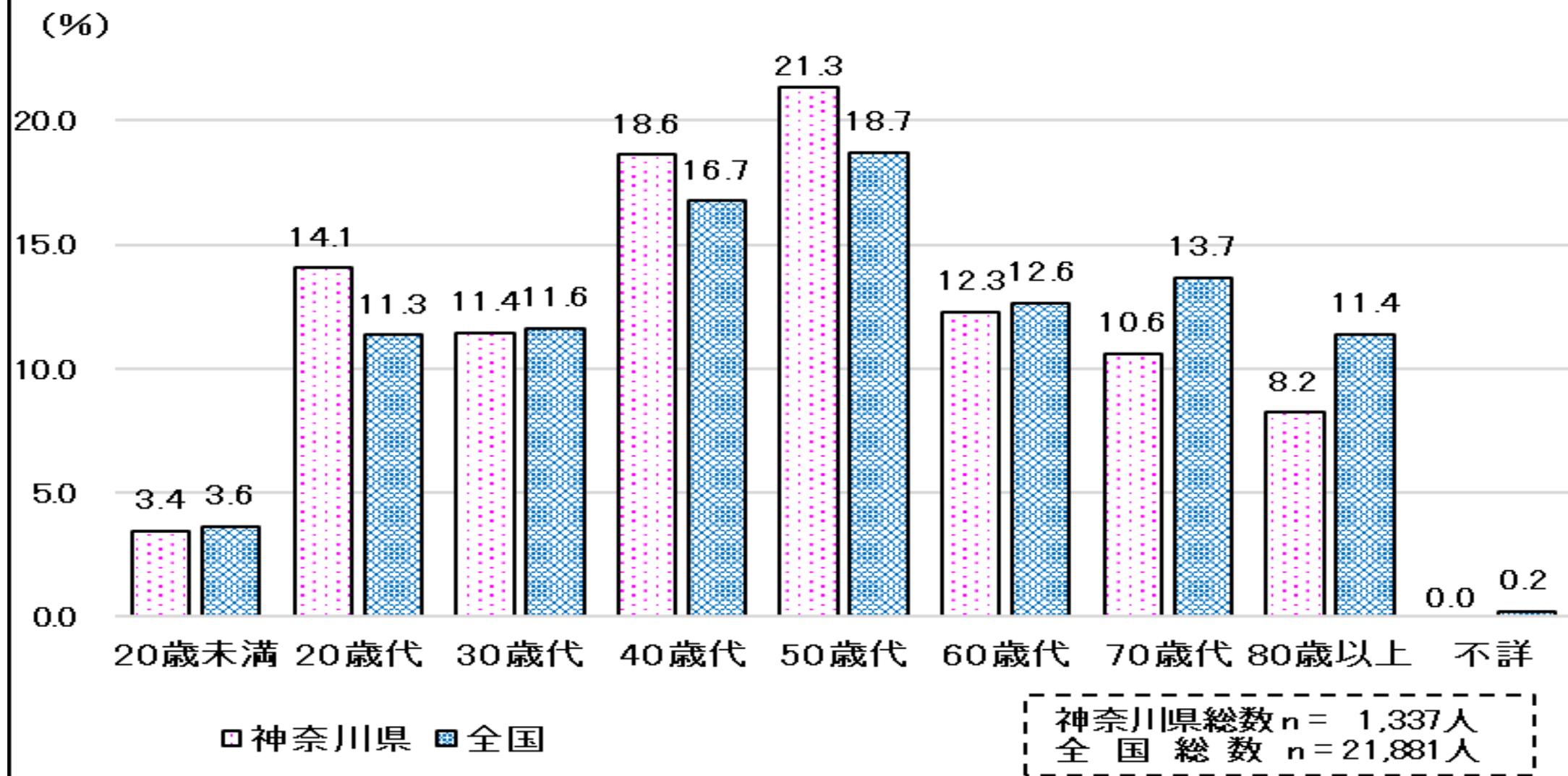
(自殺死亡率)

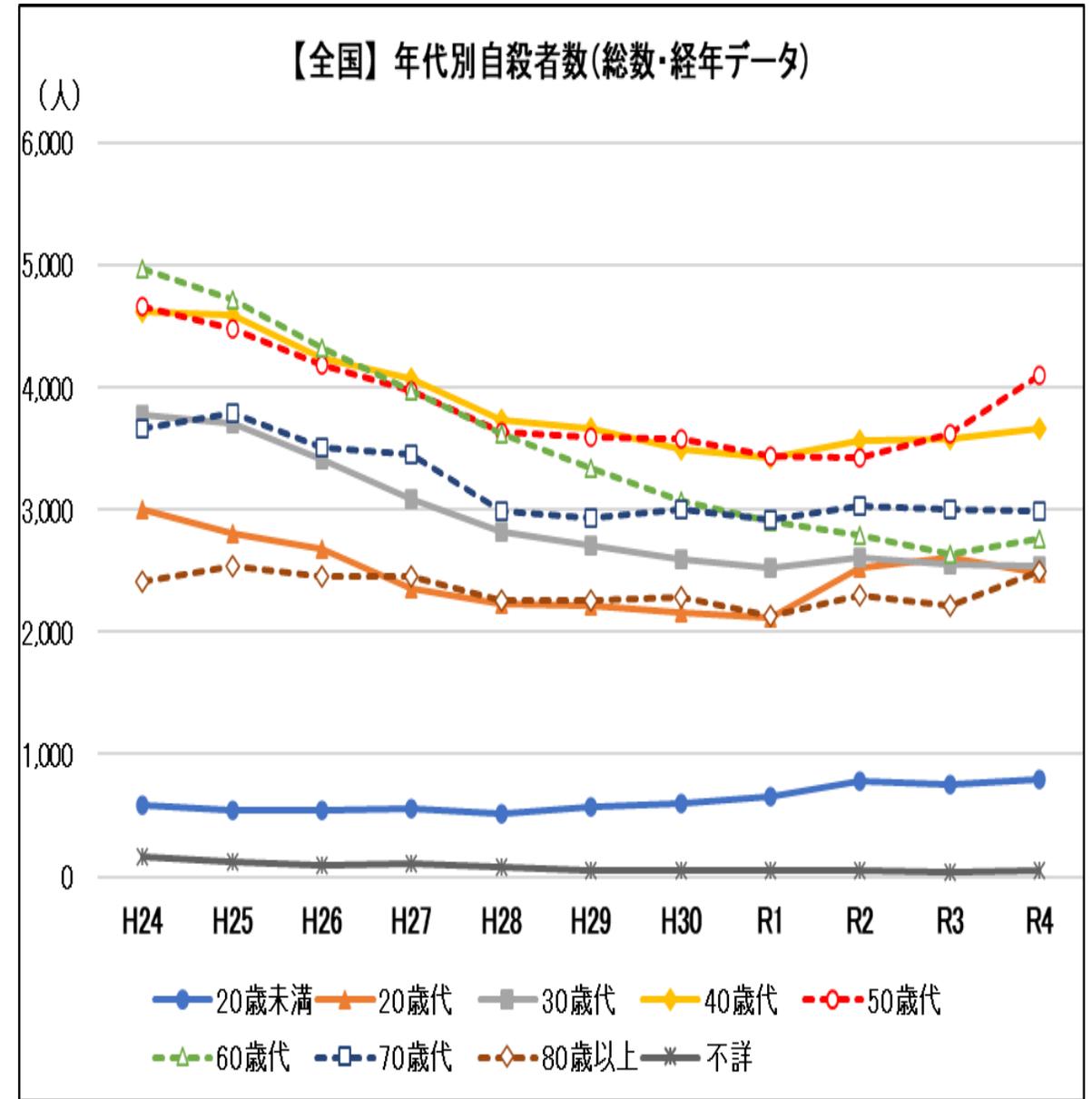
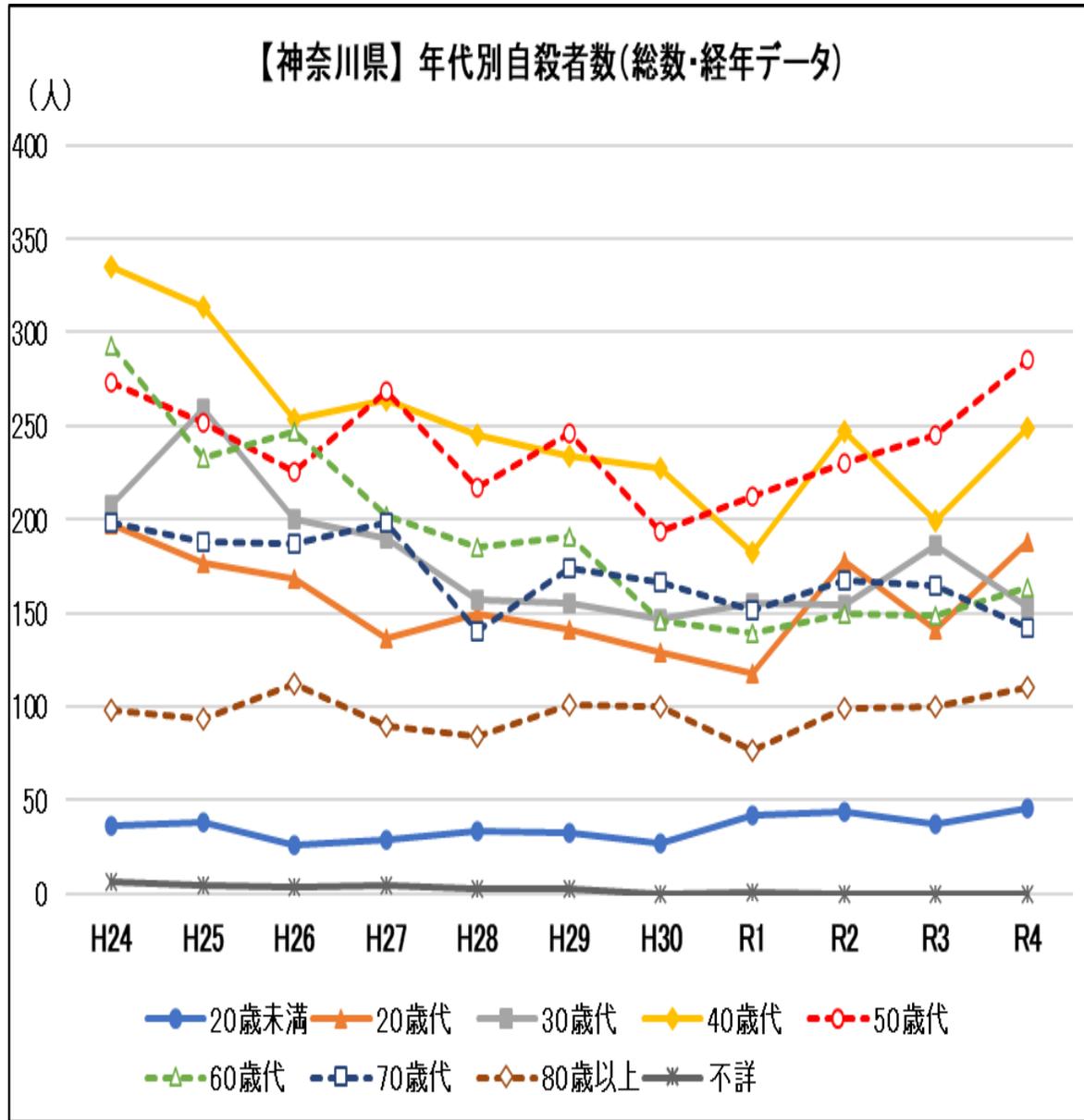
県所管域・政令市 自殺死亡率推移



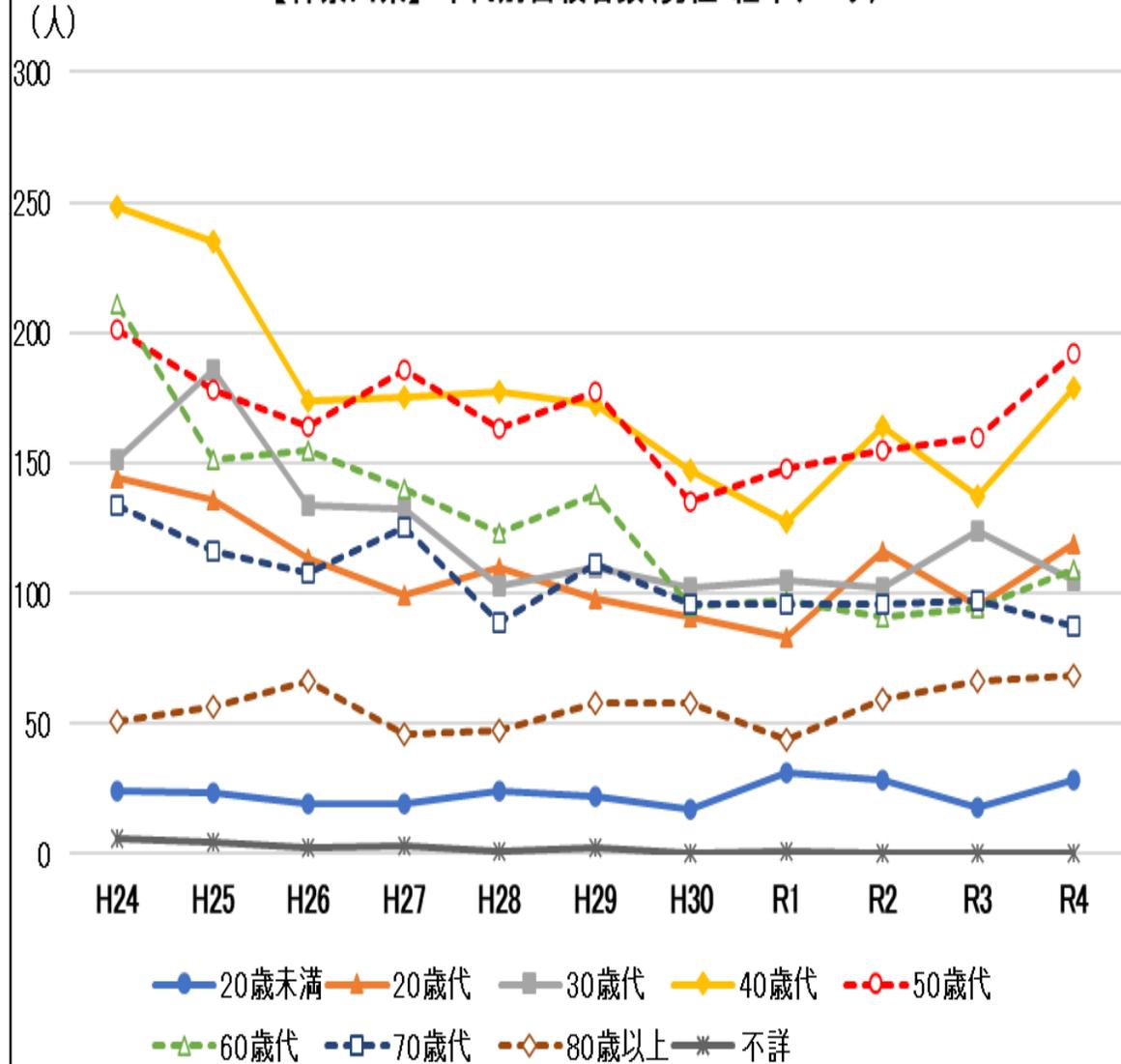
—■— 横浜市自殺死亡率 -◆- 川崎市自殺死亡率 -▲- 相模原市自殺死亡率 ● 県所管域自殺死亡率

【神奈川県・全国】年代別自殺者の割合(令和4年)

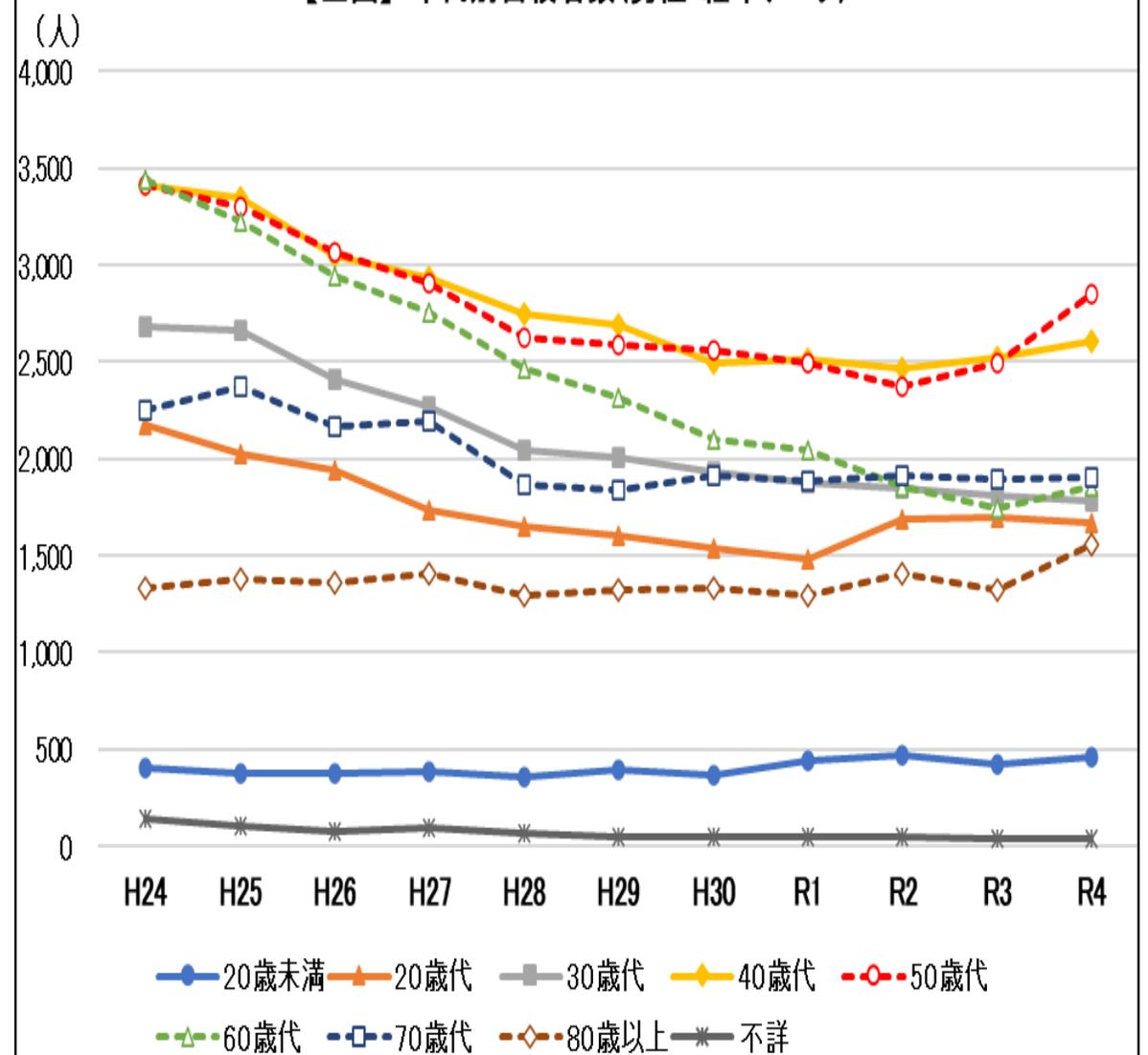


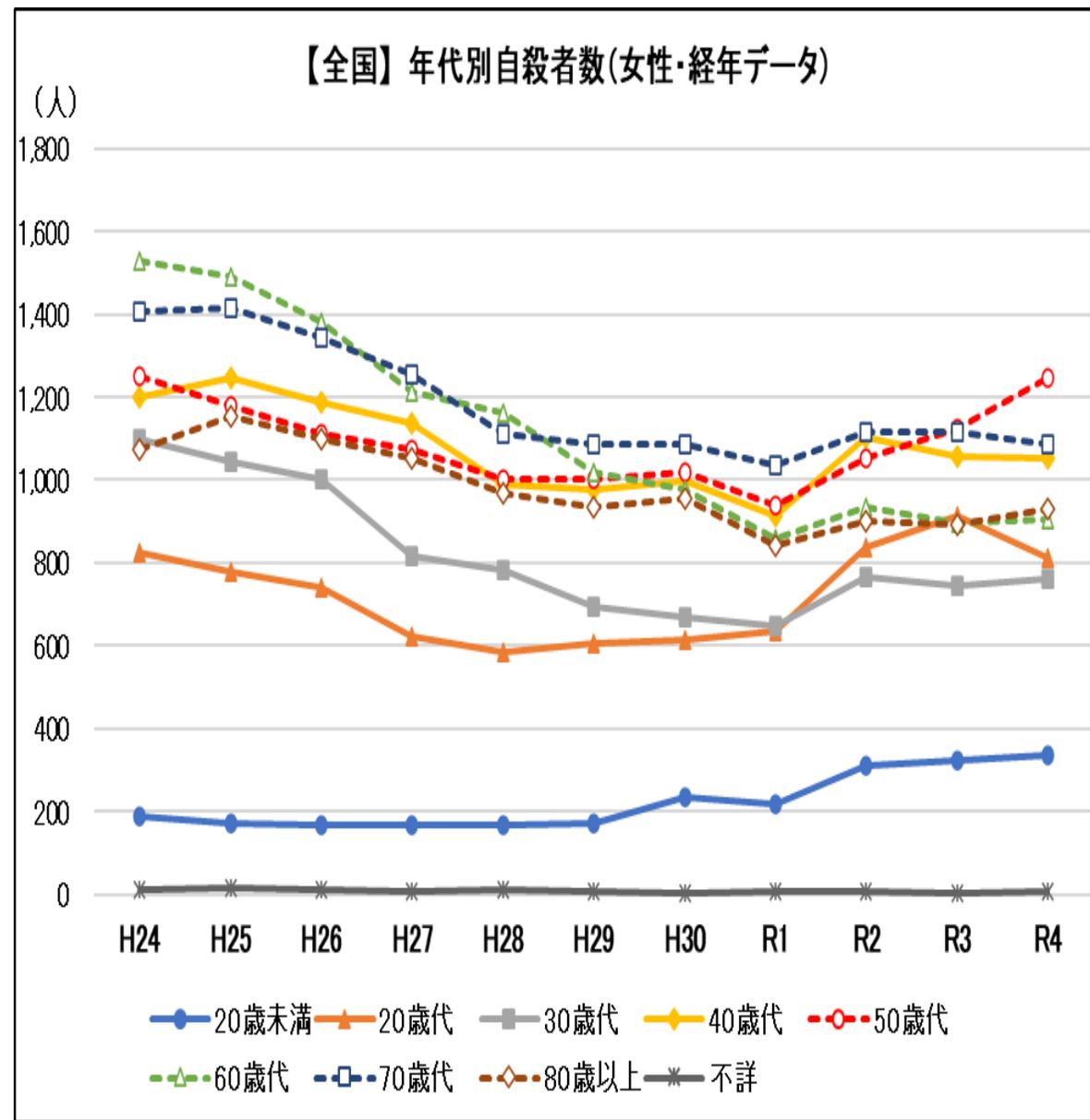
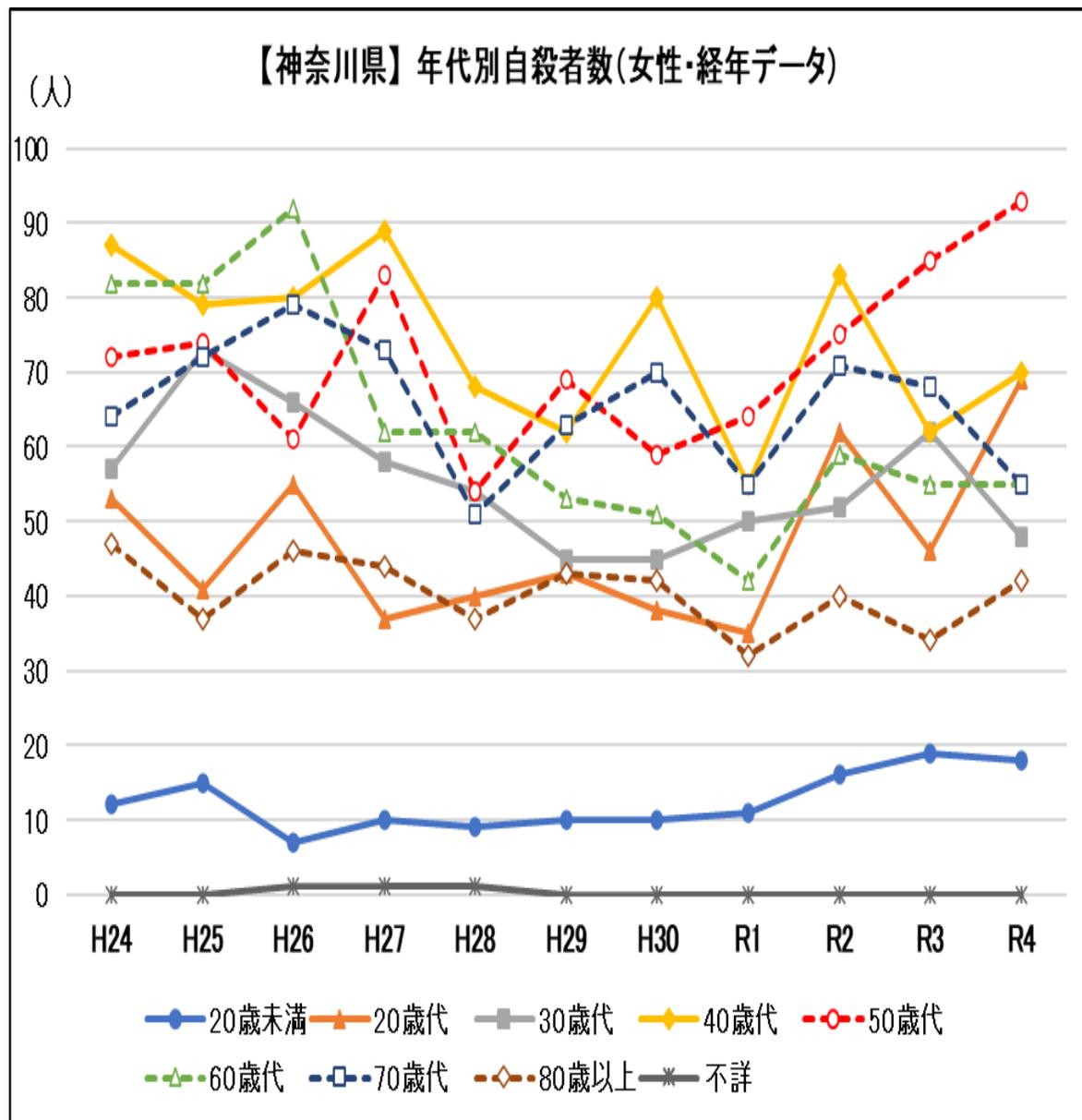


【神奈川県】年代別自殺者数(男性・経年データ)

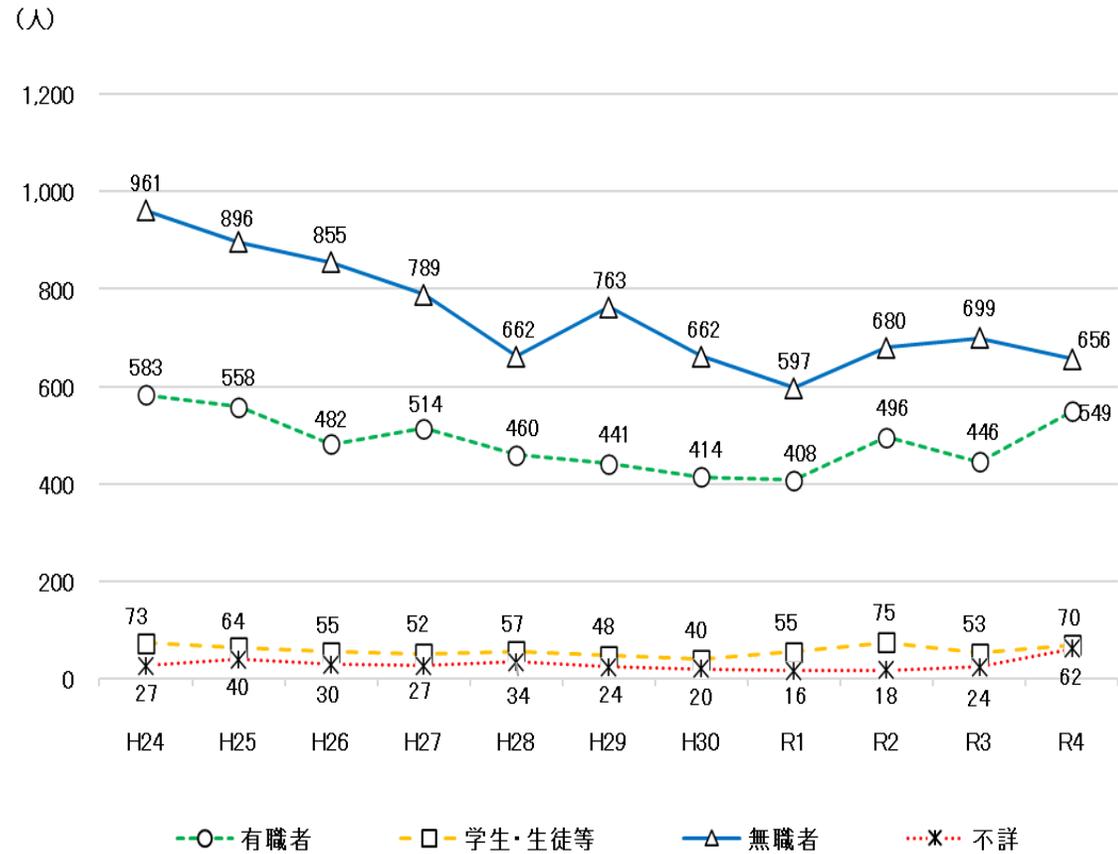


【全国】年代別自殺者数(男性・経年データ)

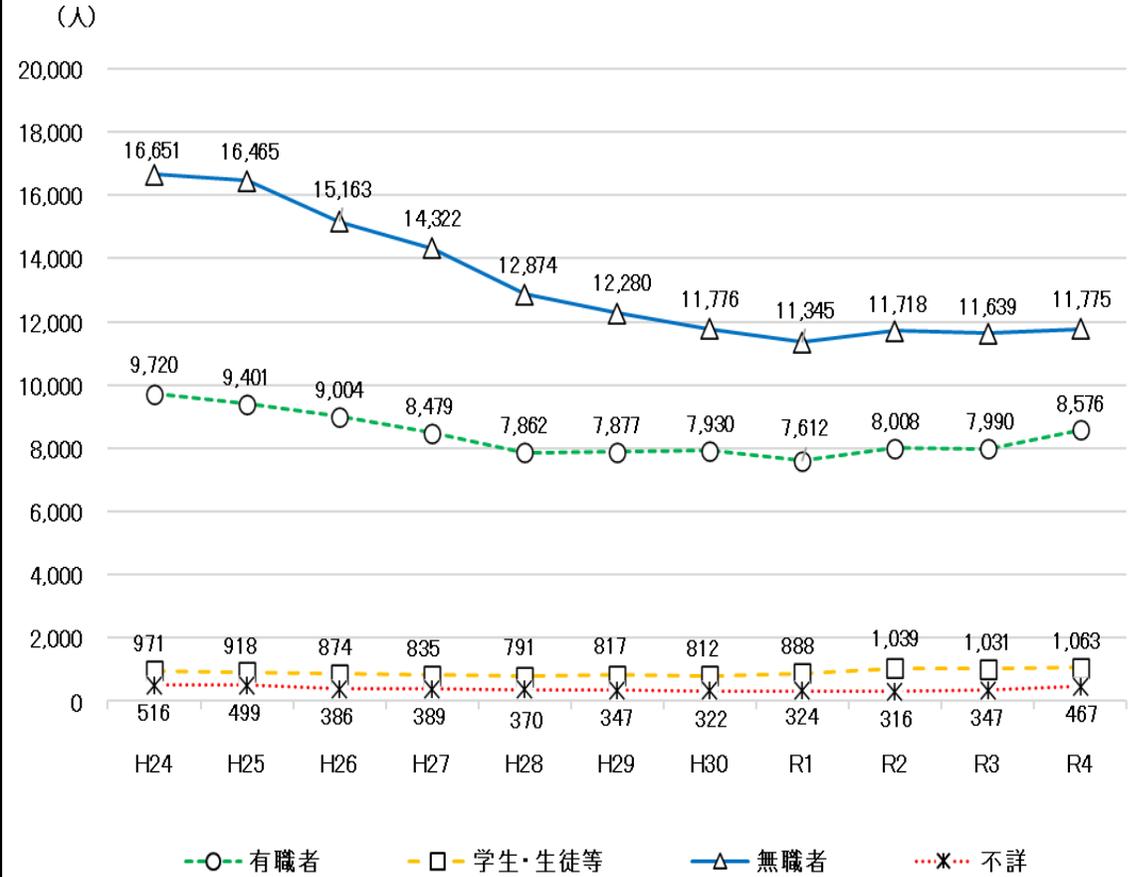




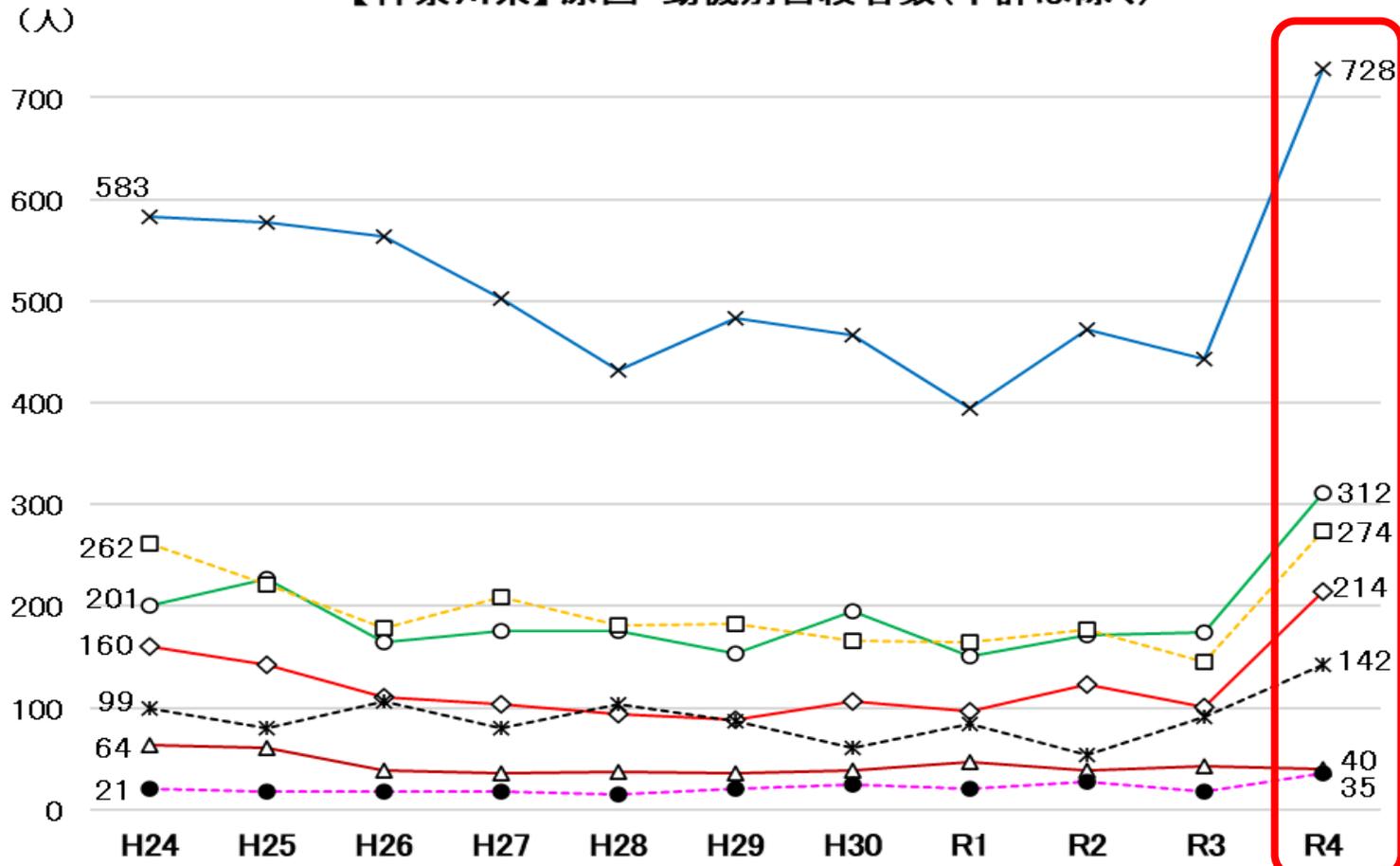
【神奈川県】職業別自殺者数



【全国】職業別自殺者数



【神奈川県】原因・動機別自殺者数(不詳は除く)

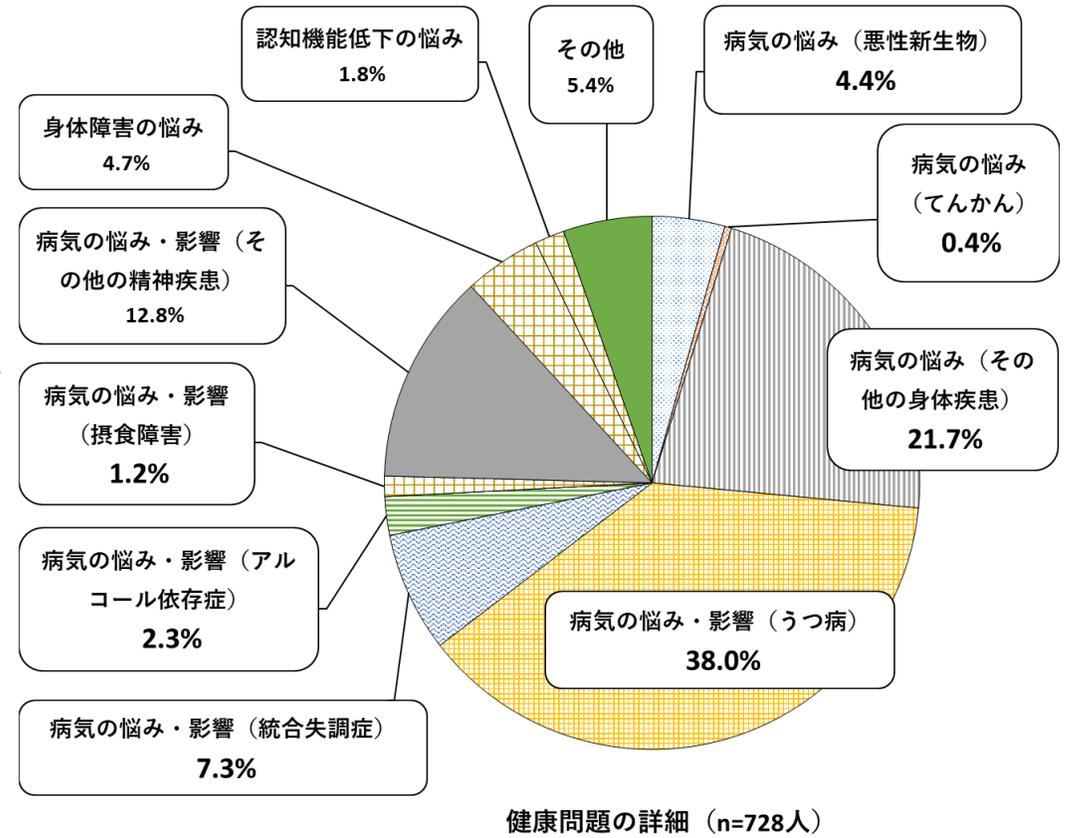
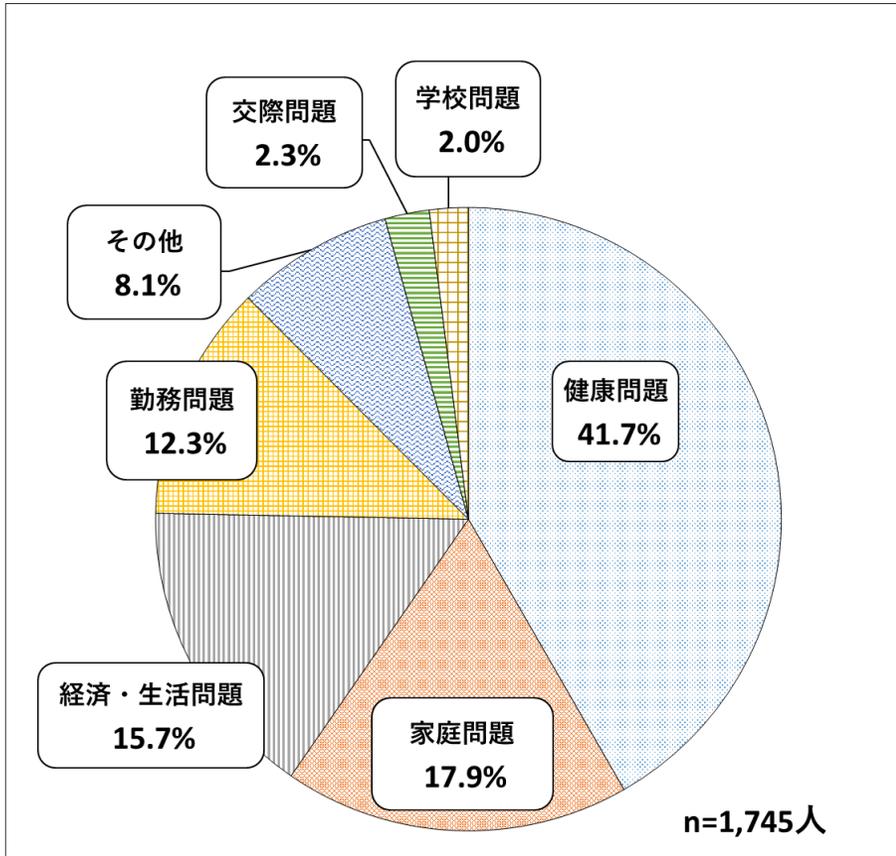


○ 家庭問題 × 健康問題 □ 経済・生活問題 ◇ 勤務問題
 △ 男女問題 ● 学校問題 * その他

※原因・動機は令和3年までは3つ以内、令和4年からは4つ以内の複数計上が可能であり、合計は自殺者数(実数)とは一致しない。

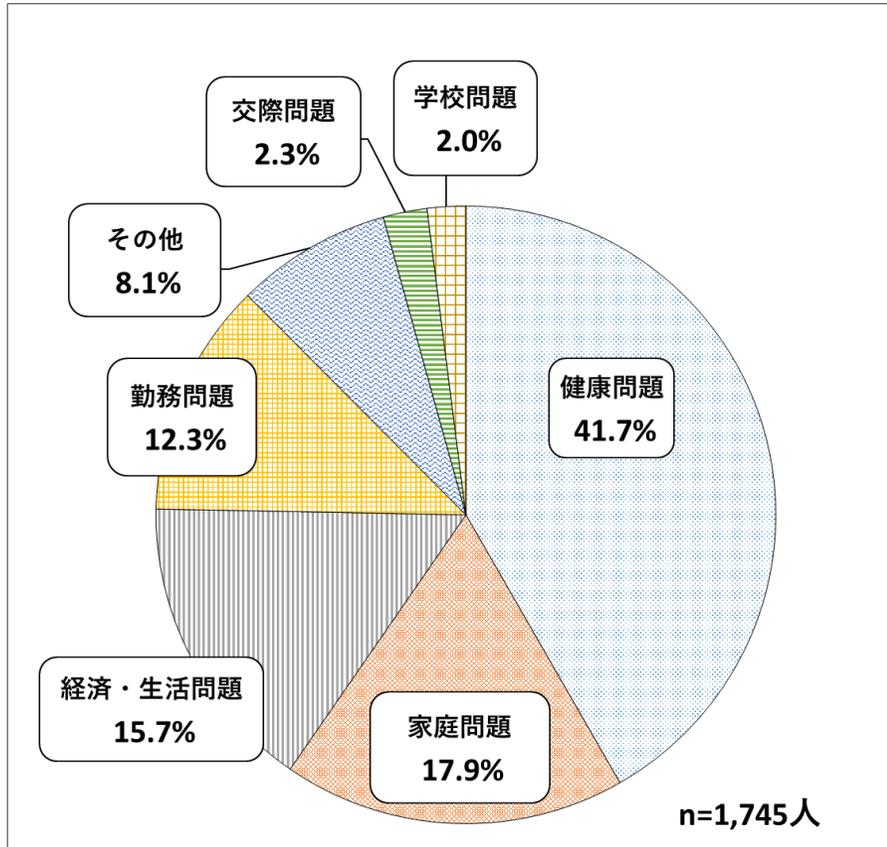
※上記理由により、令和3年以前と令和4年は、単純比較することは出来ない。

令和4年 神奈川県原因・動機別割合及び健康問題の内訳

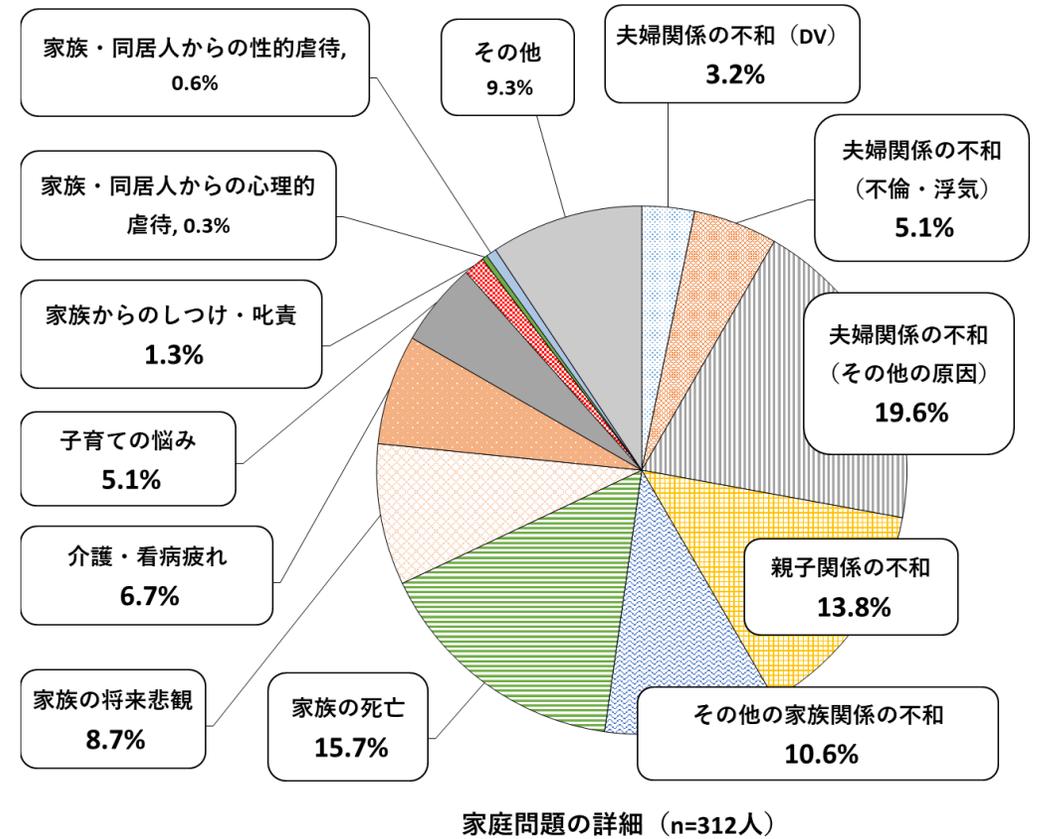


※不詳は除く。
 ※原因・動機は令和4年は4つ以内の複数計上が可能となっている。
 ※令和4年の自殺者数(1,337人)と原因・動機別の総和(1,745人)とは一致しない。
 ※各グラフの構成割合の母数は、自殺者実数ではなく複数回答の和(n)としている。

令和4年 神奈川県原因・動機別割合及び家庭問題の内訳



家庭問題の詳細



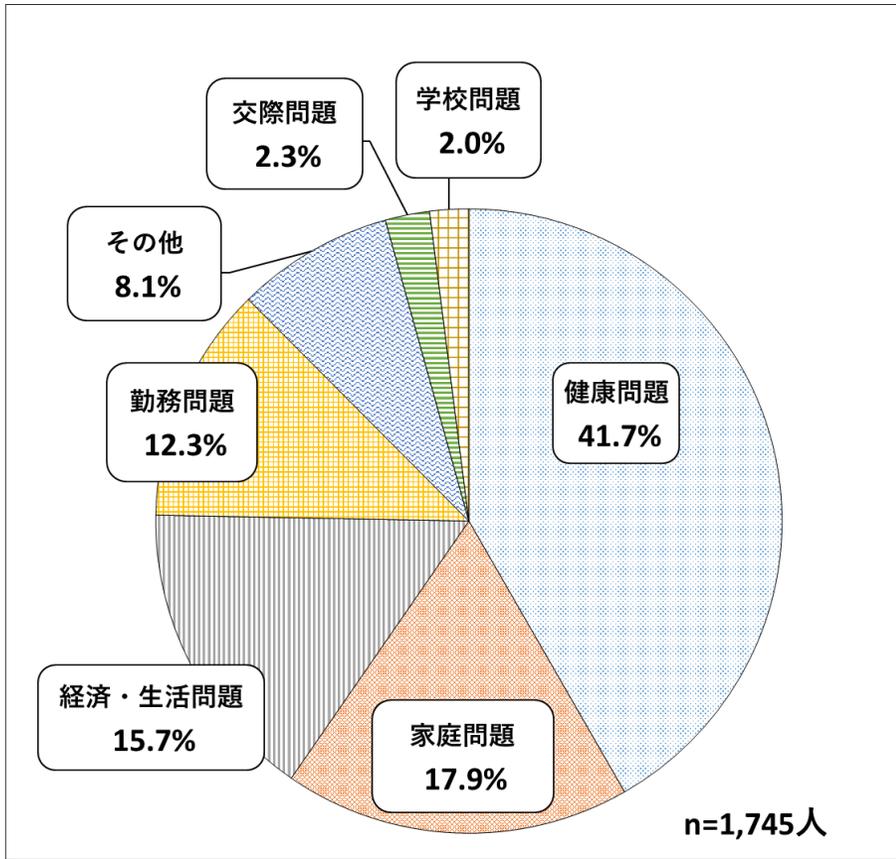
※不詳は除く。

※原因・動機は令和4年は4つ以内の複数計上が可能となっている。

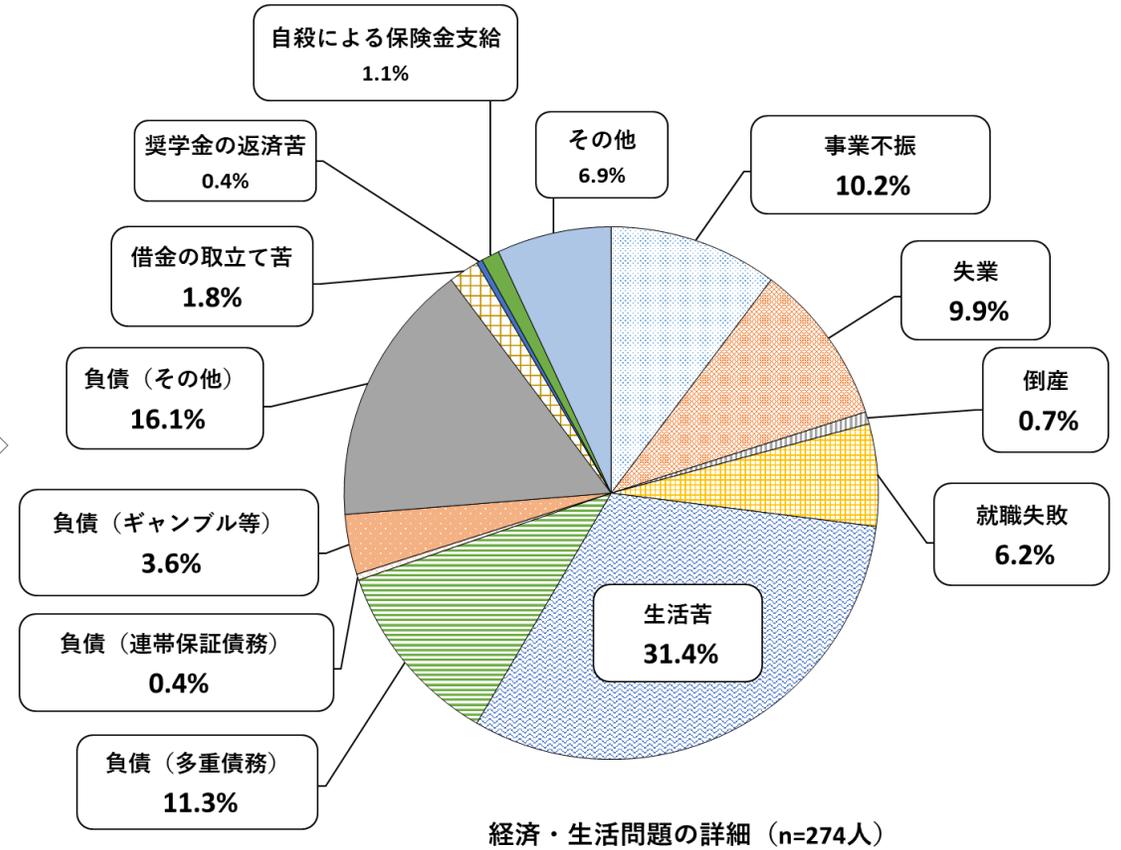
※令和4年の自殺者数（1,337人）と原因・動機別の総和（1,745人）とは一致しない。

※各グラフの構成割合の母数は、自殺者実数ではなく複数回答の和（n）としている。

令和4年 神奈川県原因・動機別割合及び経済・生活問題の内訳



経済・生活問題
の詳細



※不詳は除く。

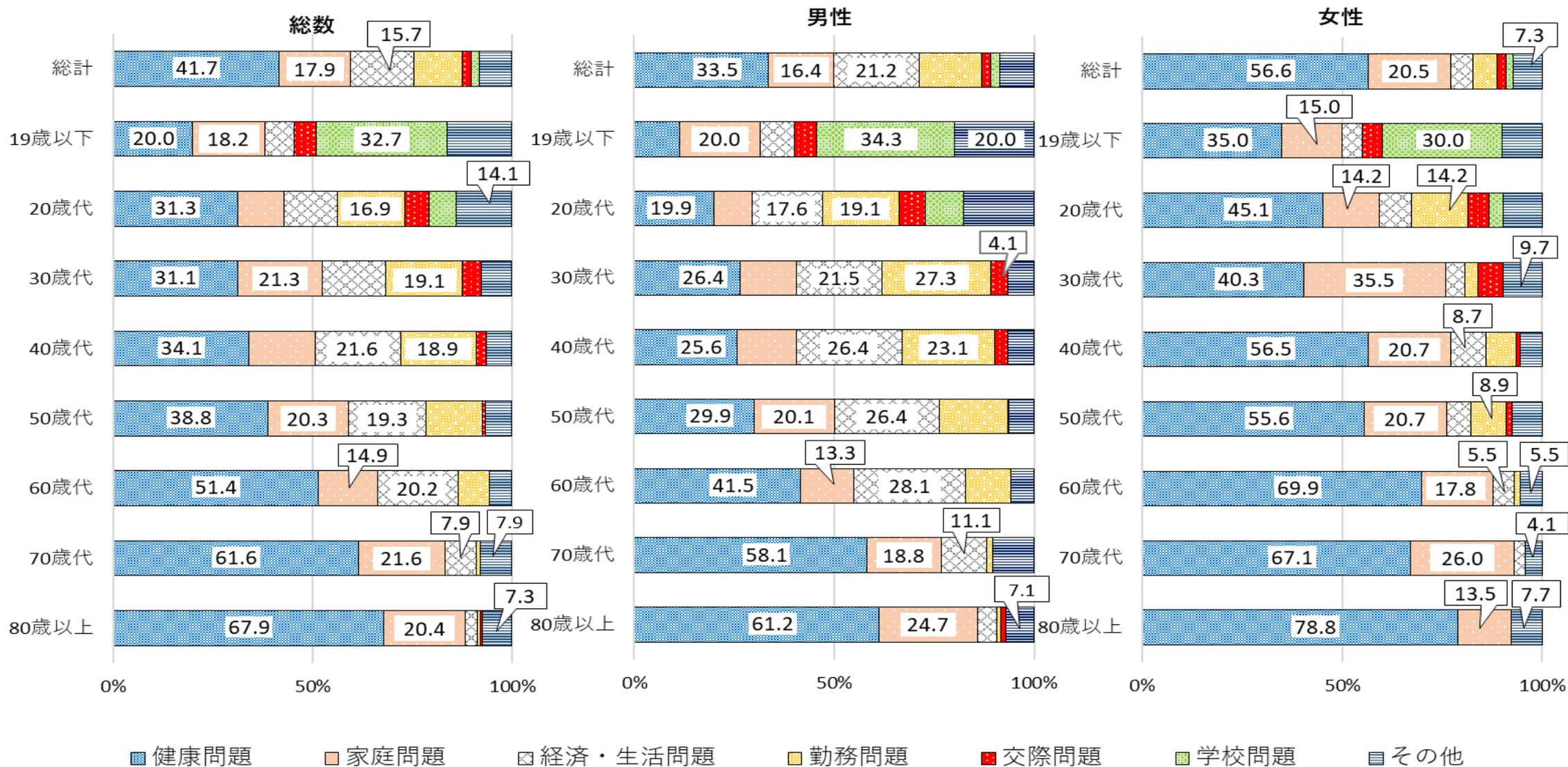
※原因・動機は令和4年は4つ以内の複数計上が可能となっている。

※令和4年の自殺者数(1,337人)と原因・動機別の総和(1,745人)とは一致しない。

※各グラフの構成割合の母数は、自殺者実数ではなく複数回答の和(n)としている。

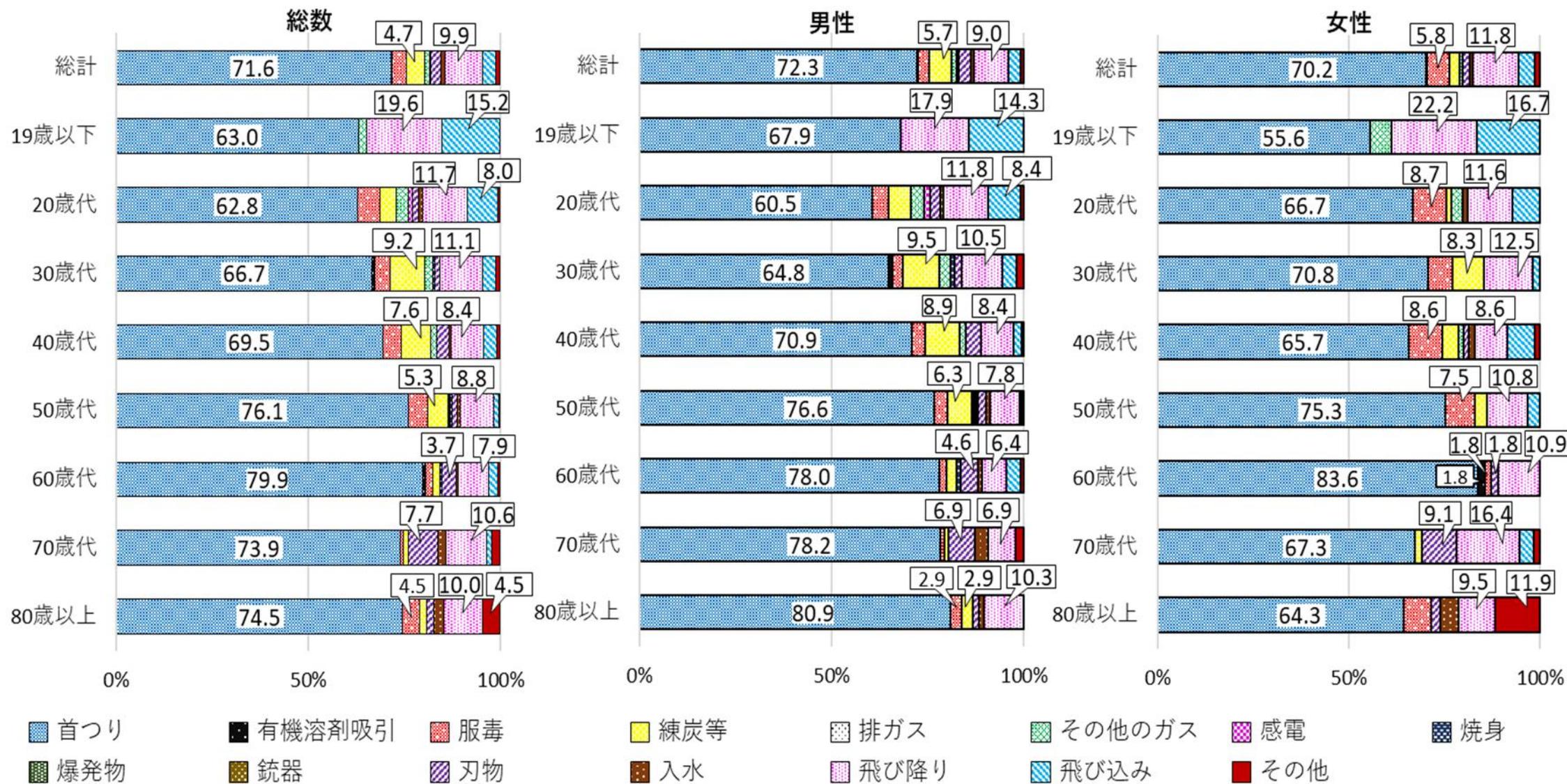
【神奈川県】 令和4年における男女別・年齢階級別（10歳階級）・自殺の原因・動機別の自殺者の構成割合

(数値は上位3項目を表示)



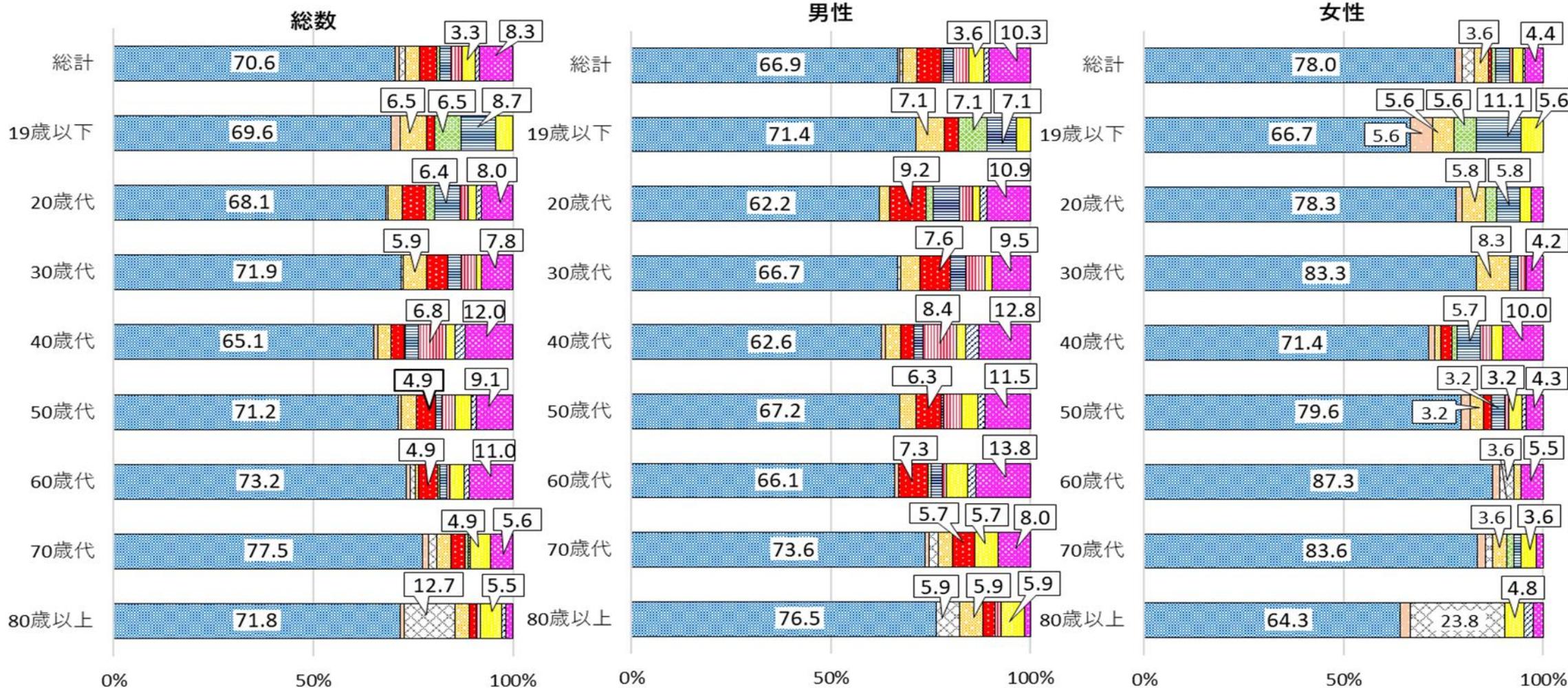
【神奈川県】

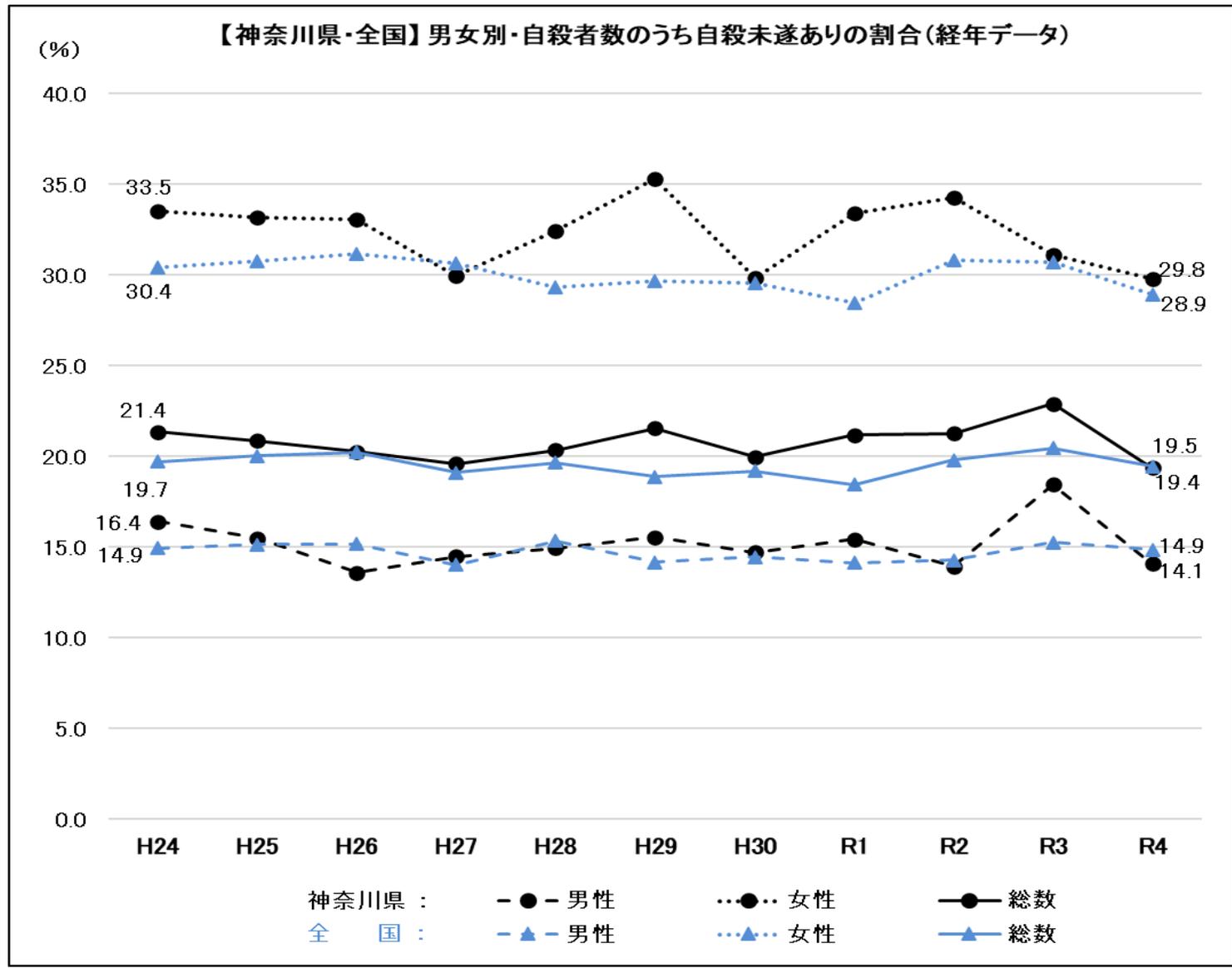
令和4年における男女別・年齢階級別（10歳階級）・自殺の手段別の自殺者の構成割合（数値は上位3項目を表示）



【神奈川県】 令和4年における男女別・年齢階級別（10歳階級）・自殺の場所別の自殺者の構成割合

(数値は上位3項目を表示)

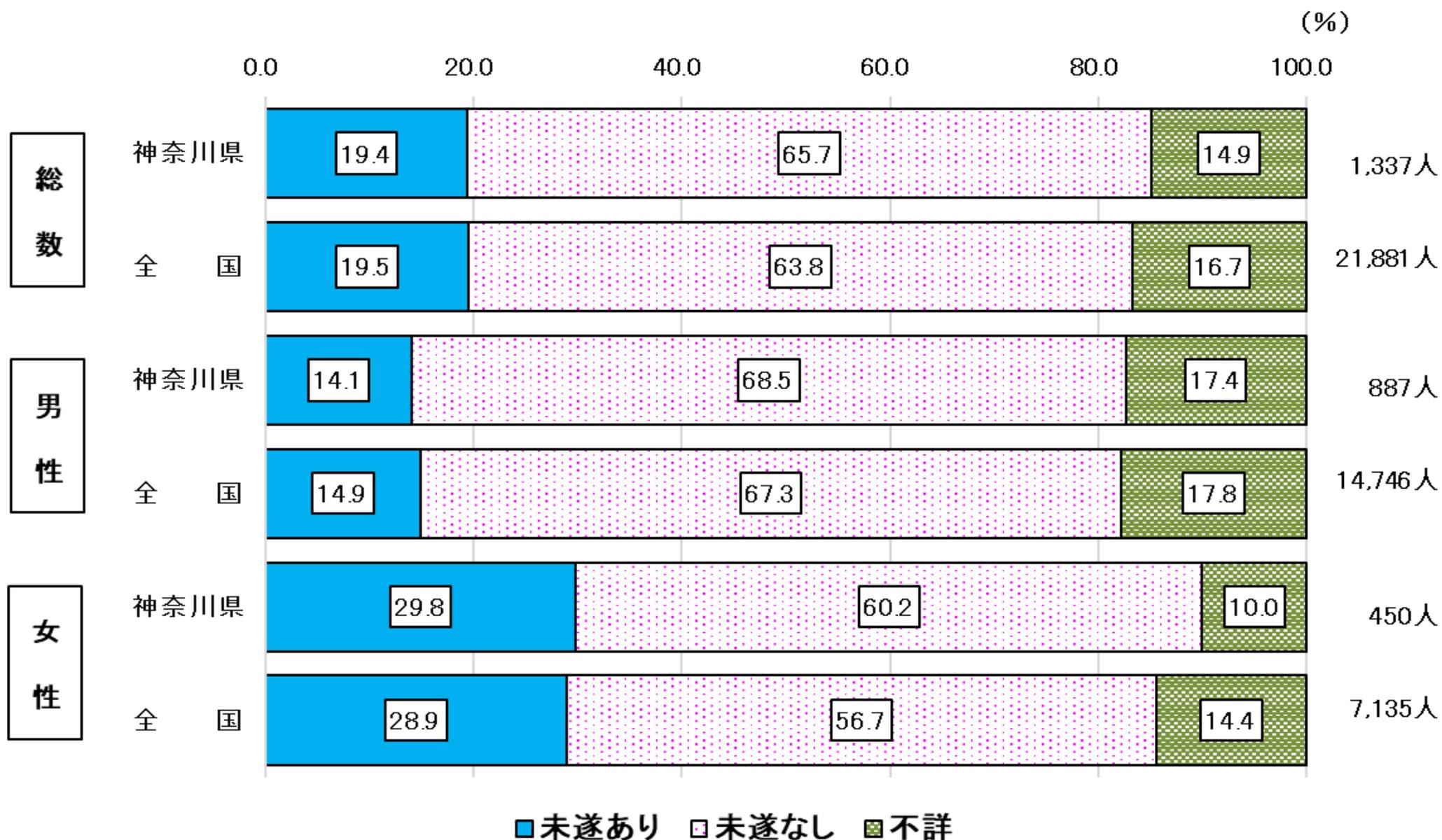




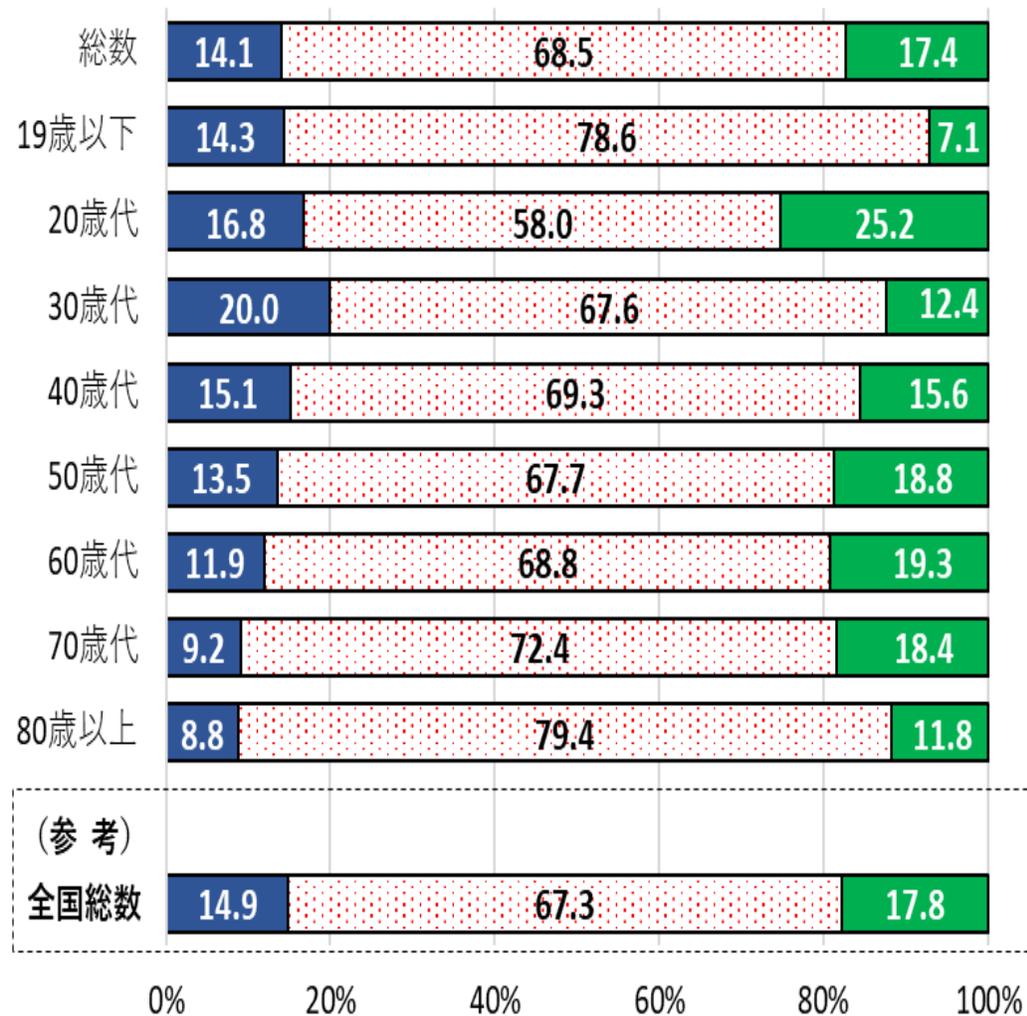
総数(人)n:年[神奈川県/全国]

H24 [1,644/27,858]	H25 [1,558/27,283]	H26 [1,422/25,427]	H27 [1,382/24,025]	H28 [1,213/21,897]
H29 [1,276/21,321]	H30 [1,136/20,840]	R 1 [1,076/20,169]	R 2 [1,269/21,081]	R 3 [1,222/21,007]
R 4 [1,337/21,881]				

【神奈川県・全国】男女別・自殺未遂の有無の割合(令和4年)



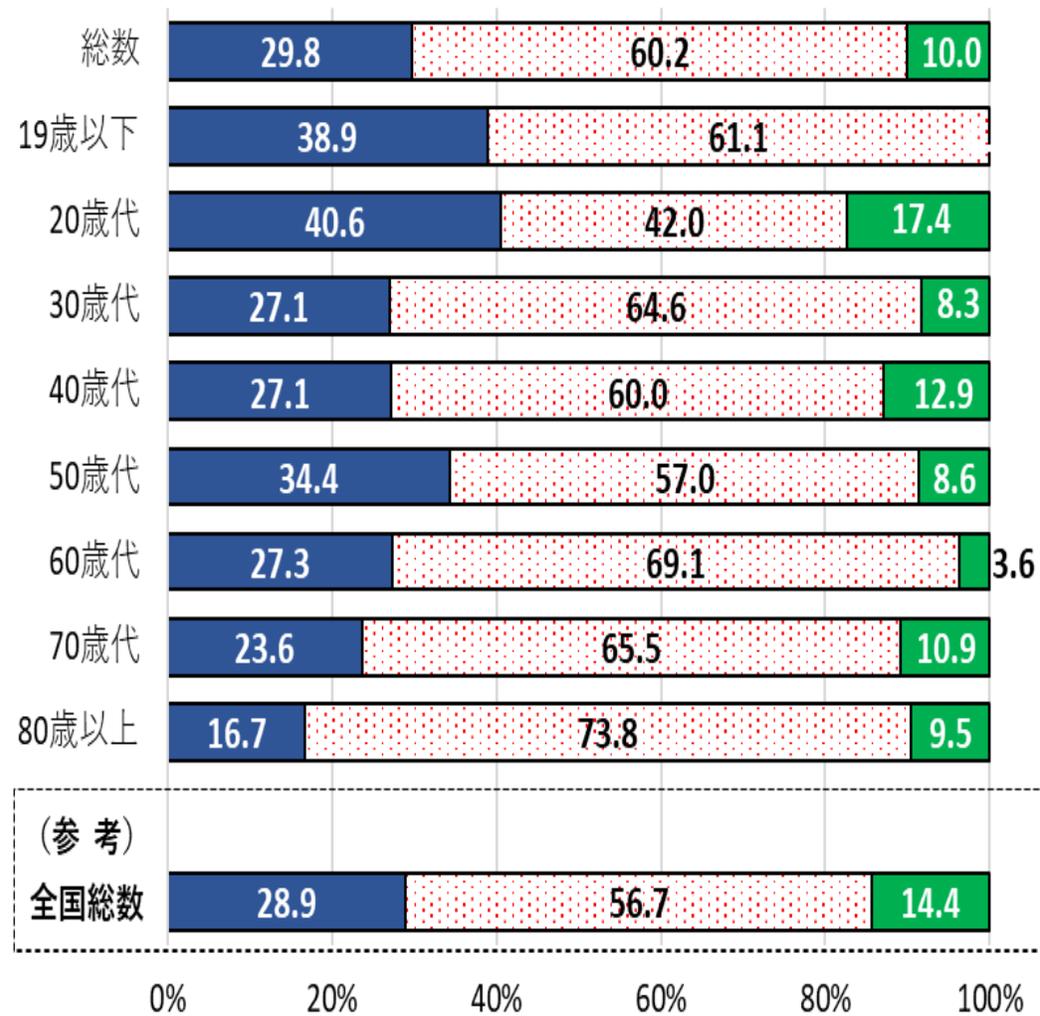
【神奈川県】年齢階級別、自殺未遂歴の有無別自殺者数の割合
(令和4年・男性)



■あり □なし ■不詳

神奈川県男性総数 n=887人
全国男性総数 n=14,746人

【神奈川県】年齢階級別、自殺未遂歴の有無別自殺者数の割合
(令和4年・女性)



■あり □なし ■不詳

神奈川県女性総数 n=450人
全国女性総数 n=6,550人

第4章 施策展開

1. 地域レベルの実践的な取組への支援を強化する
2. 県民一人ひとりの気付きと見守りを促す
3. 自殺対策に係る人材の確保、養成及び資質の向上を図る
4. 心の健康を支援する環境の整備と心の健康づくりを推進する
5. 適切な精神保健医療福祉サービスを受けられるようにする
6. 社会全体の自殺リスクを低下させる
7. **自殺未遂者**の再度の自殺企図を防ぐ
8. 遺された人への支援を充実する
9. 民間団体との連携を強化する
10. **子ども・若者**の自殺対策を更に推進する
11. 勤務問題による自殺対策を更に推進する
12. **女性**の自殺対策を更に推進する

まとめ

令和4年度神奈川県での自殺の状況は、

- 自殺者数は、115人増加し、1337人となり、全国で3番目の高値。
- 自殺死亡率は、14.5で、全国で2番目の低値。
- 年代別自殺者の割合では、20歳代、40歳代、50歳代で全国値より高値。
- 50歳代、40歳代、20歳代の順で自殺者数は多く、令和に入り増加傾向。
20歳未満の自殺者数は、10年間で一番多い。
- 原因・動機別では、「健康問題」、「家庭問題」、「経済・生活問題」、「勤務問題」の順に多い。20歳未満では、「学校問題」が1/4を占めた。
- 手段では「首つり」が、場所では「自宅等」が多い。
- 自殺未遂の有無の割合は、女性では約3割を占め、若年女性に多い傾向。